



## 昔の道具クイズ

昔の道具について次のクイズに教えてください。

第1問 これは「湯通し」という道具です。何に使った道具でしょう？



① うめぼ 梅干しを入れる



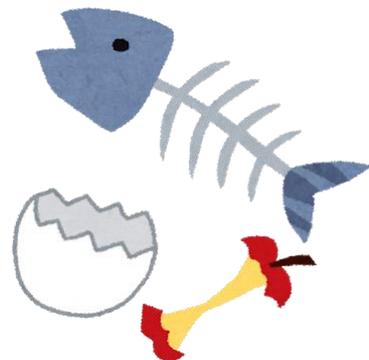
② うどんのめんを作る



③ ひ 冷えたごはんをあたためる



④ 生ごみを入れる



第2問 これは何に使った道具でしょう？



- ① <sup>ぬの</sup>お布を織る
- ② 紙に文字を打つ
- ③ オルゴールとして
- ④ かけ算などの計算をする

第3問 これは何に使った道具でしょう？



- ① <sup>あ</sup>明かりをつける
- ② ハエをとる
- ③ <sup>がっき</sup>楽器として
- ④ 料理にかぶせる

第4問 これは「マス」という道具です。何に使った道具でしょう？



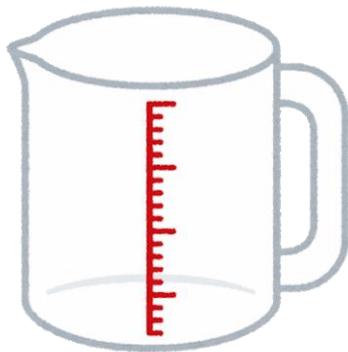
① ペットのごはんを入れる



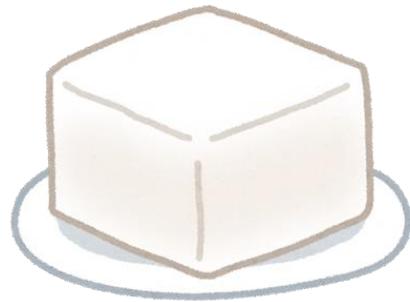
② べんとうぼこ  
弁当箱として



③ りょう しか  
量を計る



④ とうふを作る



第5問 これは何に使った道具でしょう？



- ① 写真をとる
- ② 草を刈る
- ③ なげあそび
- ④ 音楽をきく

第6問 これは何でしょう？



- ① 電話
- ② ラジオ
- ③ 時計
- ④ ラッパ

★答えは次のページ

# 答え

## 第1問 ③冷えたご飯をあたためる

冷えたご飯を入れ、お湯をかけてあたためます。底に穴が開いているので、お湯はそこから流れ出て、ご飯が残るしくみです。保温ができる炊飯器や電子レンジがある現在では使われていない道具です。

## 第2問 ④かけ算などの計算をする

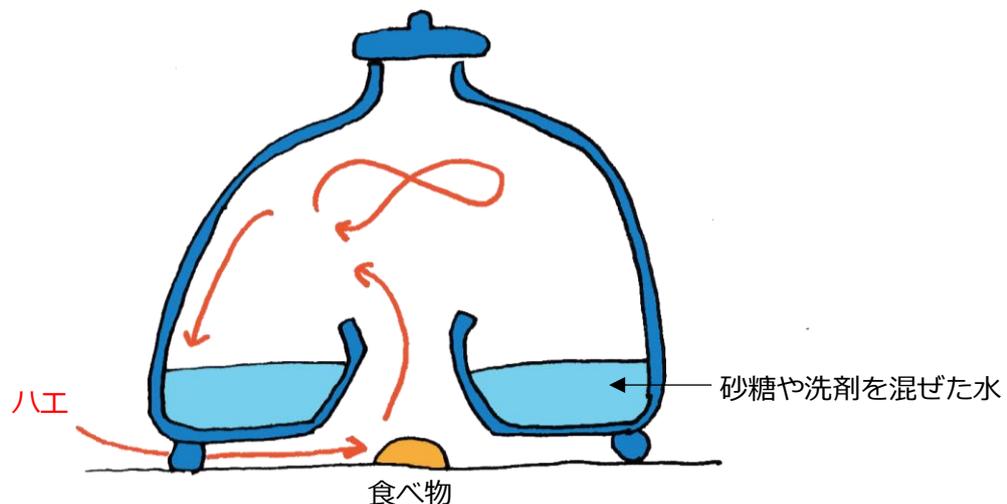
「手廻し計算機」と呼ばれる道具です。かけ算やわり算などの計算ができます。昭和20年代に発売になったタイプで、このような計算機は昭和40年代まではよく使われていたようです。値段が高かったため家庭で気軽に買うようなものではなく、市役所や会社などの仕事で使われました。現在はこれに代わって電卓やスマホを使って計算していますね。



## 第3問 ②ハエをとる

この道具は「ハエ取り器」です。昔は今のような水洗トイレではなく、汲み取り式トイレ(通称ポットトイレ)だったこともあり、夏になると家の中にハエが増えて困っていたのでこの道具を使いました。

ハエ取り器の中に砂糖や洗剤を混ぜた水を入れ、底の部分にハエをおびき寄せるための食べ物(例：トウモロコシ、魚の内臓、甘いものなど)を置いておきます。食べ物のおいしそうな匂いに誘われて、底からハエ取り器の中に入ったハエは、出ることができずに水の中に落ちるといしくみです。ハエは真下に飛ぶことや、空中で止まることができないという性質を利用して使っています。最後は上のフタを取り、さかさまにして水ごと捨てます。



#### 第4問 ③ 量を計る

米、塩、酒、しょうゆ、酢などの量を計る道具です。マスには計量カップのようなめもりはありませんが、1杯分の量が決まっています。



#### 第5問 ④ 音楽をきく

これは「レコード」です。「蓄音機」または「レコードプレーヤー」という機械を使って音を出します。現在ではデータをダウンロードすれば手軽に音楽をきくことができますが、昔はこのように大きな道具が必要でした。レコードをコレクションするという楽しみもあったそうですよ。

#### 第6問 ① 電話

明治30年(約120年前)に登場した電話機です。今は、家に一台、一人一台の電話を持つ時代ですが、このような電話が使われていたころはほとんどの家が電話を持っていませんでした。

酒田で初めての電話は、明治25年に鋳屋が設置しました。当時はとてもめずらしいものでした。昭和の中ごろからは、多くの家で電話を置くようになり、下の写真のような電話がよく使われました。この電話は、電話番号を押すボタンではなく、穴に指を入れて回す「ダイヤル」がついていて「黒電話」と呼ばれました。



黒電話